

年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	商 業	科 目	課題研究(簿記系)(3単位)
対 象	第4学年		
教 科 書	「原価計算」 (東京法令出版) 等		
副教材その他	自作プリントなど		
目 標	3年次の原価計算の続きの学習から進める。 各種簿記検定試験(全経簿記能力検定、日商簿記検定)の合格を目指す。		
学期	時間	単 元	内 容
1	2 1	各種簿記検定試験に向けた学習	全経簿記能力検定1級原価計算・工業簿記 全経簿記能力検定2級工業簿記 全経簿記能力検定2級商業簿記 全経簿記能力検定3級商業簿記
	2 1	各種簿記検定試験に向けた学習	全経簿記能力検定1級原価計算・工業簿記 全経簿記能力検定2級工業簿記 全経簿記能力検定2級商業簿記 全経簿記能力検定3級商業簿記
2	2 1	各種簿記検定試験に向けた学習	全経簿記能力検定1級原価計算・工業簿記 全経簿記能力検定2級工業簿記・2級商業簿記 全経簿記能力検定3級商業簿記 日商簿記検定2級・3級
	2 1	各種簿記検定試験に向けた学習	全経簿記能力検定1級原価計算・工業簿記 全経簿記能力検定2級工業簿記・2級商業簿記 全経簿記能力検定3級商業簿記 日商簿記検定2級・3級
3	2 1	各種簿記検定試験に向けた学習	全経簿記能力検定1級原価計算・工業簿記 全経簿記能力検定2級工業簿記・2級商業簿記 全経簿記能力検定3級商業簿記 日商簿記検定2級・3級

評 価	<p>(観点・基準)</p> <p>基礎的・基本的知識の習得を目指す。また授業中や各種簿記検定試験の取り組みにより理解力を判断し、問題集やプリントの記入状況、授業態度、小テスト、出席状況などにより総合的に評価する。</p>
-----	---

年間授業計画 新様式

第三商業 高等学校（定時制）（4 学年用）

教科 商業

科目 課題研究（情報系）

教科 商業

科目 課題研究（情報系）

単位数 3 単位

対象学年組 第 4 学年 1 組

教科担当者

使用教科書 (自校作成プリントによる)

教科 商業

の目標

【知識及び技能】 表計算の基本的な概念や原理を体系的に理解する。日本語ワープロの習熟を通じて検定の合格を目指す。

【思考力、判断力、表現力等】 検定合格に向けて、各自で弱点を見出し、課題を克服する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 「教えあうこと」を重視し、かつ資格取得という共通の目標に向けて学習を深めて考察する。

科目 課題研究（情報系）

の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表計算の基本的な概念や原理を体系的に理解する。日本語ワープロの習熟を通じて検定の合格を目指す。	検定合格に向けて、各自で弱点を見出し、課題を克服する力を養う。	「教えあうこと」を重視し、かつ資格取得という共通の目標に向けて学習を深めて考察する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当 時数
			講	作	マ	演	発					
1 学 期	単元名 対策問題集演習 【知識及び技能】 各関数会得に必要な知識・技能の復習 【思考力、判断力、表現力等】 日本語ワープロに必要な漢字の読み書き 【学びに向かう力、人間性等】 弱点克服に際し粘り強く努力する 実技試験	日本情報処理検定表計算準2級 日本情報処理検定日本語ワープロ3級	○	○	○	○	○	【知識・技能】 総合的な知識が身についているか 【思考・判断・表現】 プリント、提出物の取り組み状況・行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の発言・課題提出	○	○	○	40
									○	○		2
2 学 期	単元名 対策問題集演習 【知識及び技能】 各関数会得に必要な知識・技能の復習 【思考力、判断力、表現力等】 日本語ワープロに必要な漢字の読み書き 【学びに向かう力、人間性等】 弱点克服に際し粘り強く努力する 定期考査	日本情報処理検定表計算2級 日本情報処理検定日本語ワープロ3級	○	○	○	○	○	【知識・技能】 総合的な知識が身についているか 【思考・判断・表現】 プリント、提出物の取り組み状況・行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の発言・課題提出	○	○	○	40
									○	○		2
3 学 期	単元名 対策問題集演習 【知識及び技能】 各関数会得に必要な知識・技能の復習 【思考力、判断力、表現力等】 日本語ワープロに必要な漢字の読み書き 【学びに向かう力、人間性等】 弱点克服に際し粘り強く努力する 定期考査	日本情報処理検定表計算準2級 日本情報処理検定プレゼンテーション検定1級	○	○	○	○	○	【知識・技能】 総合的な知識が身についているか 【思考・判断・表現】 プリント、提出物の取り組み状況・行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の発言・課題提出	○	○	○	20
									○	○		1
											合計	105

- 【知識及び技能】1.多様なビジネスの場面で役立つ情報の収集・処理・分析・表現と活用について理解させる。
 1. 経済社会においてビジネスに関する情報を論理的に考えさせる。
 【思考力、判断力、表現力等】2.情報セキュリティや情報の扱いについて科学的根拠に基づき場面に応じた解決方法を考えさせる。
 3. 収集した情報を場面に応じて活用的に判断し表現させる。
 【学びに向かう力、人間性等】2.他者と信頼関係を構築し積極的に関わり責任をもって学びに向かう姿勢を身につけさせる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの場面に応じた情報の収集を行うことができる。 ・ビジネスの場面に応じた情報の処理を行うことができる。 ・ビジネスの場面に応じた情報の分析を行うことができる。 ・ビジネスの場面に応じた情報の表現を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスに関する情報を論理的に考えることができる。 ・情報セキュリティや情報の扱いについて科学的根拠に基づき場面に応じた解決方法を考えることができる。 ・収集した情報を場面に応じて活用的に判断し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して具体例を用いて積極的に考えることができる。 ・協働的な学習を通して課題解決方法を考えることができる。 ・他者の意見をよく聞く力を身につけることができる。 ・自分意見を的確に伝える力を身につけることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配時数
<p>A 企業活動と情報処理</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の意義と役割について理解させる。 ・情報システムについて理解させる。 ・ビジネスとコンピュータについて理解させる。 ・情報社会の価値とモラルについて理解させる。 ・情報社会と法規について理解させる。 ・個人情報保護について理解させる。 ・知的財産の保護について理解させる。 ・情報デザインの重要性について理解させる。 ・情報デザインの影響と効果について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システムについて論理的に考えさせる。 ・情報社会の価値とモラルについて身近な問題提起をもとに具体的な解決策を判断させる。 ・情報社会と法規について身近な問題提起をもとに具体的な解決策を考えさせる。 ・情報デザインの影響と効果について効果的に表現する方法を考えさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して具体例を用いて積極的に考えさせる。 ・協働的な学習を通して課題解決方法を考えさせる。 ・他者の意見をよく聞く力を身につけさせる。 ・自分意見を的確に伝える力を身につけさせる。 	<p>○指導項目</p> <p>ア.情報処理の重要性</p> <p>イ.情報モラルと法規</p> <p>ウ.コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>○一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の意義と役割について理解している。 ・情報システムについて理解している。 ・ビジネスとコンピュータについて理解している。 ・情報社会の価値とモラルについて理解している。 ・情報社会と法規について理解している。 ・個人情報の保護について理解している。 ・知的財産の保護について理解している。 ・情報デザインの重要性について理解している。 ・情報デザインの影響と効果について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システムについて論理的に考えることができる。 ・情報社会の価値とモラルについて身近な問題提起をもとに具体的な解決策を判断することができる。 ・情報社会と法規について身近な問題提起をもとに具体的な解決策を判断することができる。 ・情報デザインの影響と効果について効果的に表現する方法を判断することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して具体例を用いて積極的に考えることができる。 ・協働的な学習を通して課題解決方法を考えることができる。 ・他者の意見をよく聞く力を身につけることができる。 ・自分意見を的確に伝える力を身につけることができる。 				6
<p>B コンピュータシステムと情報通信ネットワーク</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハードウェアについて理解させる。 ・ソフトウェアについて理解させる。 ・情報通信ネットワークの役割について理解させる。 ・情報通信ネットワークの構成について理解させる。 ・インターネットのしくみについて理解させる。 ・Webページの検索について理解させる。 ・Webページの活用について理解させる。 ・電子メールの活用について理解させる。 ・セキュリティ管理の重要性について理解させる。 ・セキュリティの管理について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの構成について論理的に考えさせる。 ・インターネットのしくみについて論理的に考えさせる。 ・Webページの検索について論理的に考えさせる。 ・Webページの活用について身近な問題提起をもとに具体的な解決策を考えさせる。 ・電子メールの活用について身近な問題提起をもとに具体的な解決策を考えさせる。 ・セキュリティ管理の重要性について論理的に考えさせる。 ・セキュリティの管理について身近な問題提起をもとに具体的な解決策を考えさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して具体例を用いて積極的に考えさせる。 ・協働的な学習を通して課題解決方法を考えさせる。 ・他者の意見をよく聞く力を身につけさせる。 ・自分意見を的確に伝える力を身につけさせる。 	<p>○指導項目</p> <p>ア.コンピュータシステムの概要</p> <p>イ.情報通信ネットワークの仕組みと構成</p> <p>ウ.情報通信ネットワークの活用</p> <p>エ.情報セキュリティの確保と法規</p> <p>○一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハードウェアについて理解している。 ・ソフトウェアについて理解している。 ・情報通信ネットワークの役割について理解している。 ・情報通信ネットワークの構成について理解している。 ・インターネットのしくみについて理解している。 ・Webページの検索について理解している。 ・Webページの活用について理解している。 ・電子メールの活用について理解している。 ・セキュリティ管理の重要性について理解している。 ・セキュリティの管理について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの構成について論理的に考えることができる。 ・インターネットのしくみについて論理的に考えることができる。 ・Webページの検索について論理的に考えることができる。 ・Webページの活用について身近な問題提起をもとに具体的な解決策を判断することができる。 ・電子メールの活用について身近な問題提起をもとに具体的な解決策を判断することができる。 ・セキュリティ管理の重要性について論理的に考えることができる。 ・セキュリティの管理について身近な問題提起をもとに具体的な解決策を判断することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して具体例を用いて積極的に考えることができる。 ・協働的な学習を通して課題解決方法を考えることができる。 ・他者の意見をよく聞く力を身につけることができる。 ・自分意見を的確に伝える力を身につけることができる。 				7
<p>C 情報の収集と分析</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトウェアの活用例について理解させる。 ・統計の基礎について理解させる。 ・データの入力と計算式の設定について理解させる。 ・基本的な関数について理解させる。 ・グラフの種類と概要について理解させる。 ・基本的なグラフの作成について理解させる。 ・応用的なグラフの作成と活用について理解させる。 ・情報データの整理について理解させる。 ・情報データの検索、抽出について理解させる。 ・問題発見と解決のプロセスについて理解させる。 ・モデル化とシミュレーションについて理解させる。 ・アルゴリズムとプログラミングについて理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計の基礎について論理的に考えさせる。 ・基本的な関数について論理的に考えさせる。 ・応用的なグラフの作成と活用について的確に判断し表現させる。 ・問題発見と解決のプロセスについて論理的に考えさせる。 ・アルゴリズムとプログラミングについて的確に判断し表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して具体例を用いて積極的に考えさせる。 ・協働的な学習を通して課題解決方法を考えさせる。 ・他者の意見をよく聞く力を身につけさせる。 ・自分意見を的確に伝える力を身につけさせる。 	<p>○指導項目</p> <p>ア.ビジネスと統計</p> <p>イ.関数を利用した表の作成</p> <p>ウ.グラフの作成</p> <p>エ.情報の整理・検索・抽出</p> <p>オ.問題発見と解決の方法</p> <p>○一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトウェアの活用例について理解している。 ・統計の基礎について理解している。 ・データの入力と計算式の設定について理解している。 ・基本的な関数について理解している。 ・グラフの種類と概要について理解している。 ・基本的なグラフの作成について理解している。 ・応用的なグラフの作成と活用について理解している。 ・情報データの整理について理解している。 ・情報データの検索、抽出について理解している。 ・問題発見と解決のプロセスについて理解している。 ・モデル化とシミュレーションについて理解している。 ・アルゴリズムとプログラミングについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計の基礎について論理的に考えることができる。 ・基本的な関数について論理的に考えることができる。 ・応用的なグラフの作成と活用について的確に判断し表現することができる。 ・問題発見と解決のプロセスについて論理的に考えることができる。 ・アルゴリズムとプログラミングについて的確に判断し表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して具体例を用いて積極的に考えることができる。 ・協働的な学習を通して課題解決方法を考えることができる。 ・他者の意見をよく聞く力を身につけることができる。 ・自分意見を的確に伝える力を身につけることができる。 				12

2 学 期	<p>D ビジネス文書の作成</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス文書の役割について理解させる。 ・ビジネス文書の構成について理解させる。 ・ワープロの操作と入力方法について理解させる。 ・ワープロを利用した文書の作成について理解させる。 ・社外文書について理解させる。 ・社内文書について理解させる。 ・表計算を含んだ文書の作成について理解させる。 ・表計算とグラフを含んだ文書の作成について理解させる。 ・表現力に富んだ報告書の作成について理解させる。 ・ワープロソフトの特殊な機能について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス文書の構成について論理的に考えさせる。 ・ワープロの操作と入力方法についての確に判断し表現させる。 ・ワープロを利用した文書の作成についての確に判断し表現させる。 ・社外文書と社内文書の違いを論理的に考えさせる。 ・表計算を含んだ文書の作成についての確に判断し表現させる。 ・表計算とグラフを含んだ文書の作成についての確に判断し表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して具体例を用いて積極的に考えさせる。 ・協働的な学習を通して課題解決方法を考えさせる。 ・他者の意見をよく聞く力を身につけさせる。 ・自分意見を的確に伝える力を身につけさせる。 	<p>○指導項目</p> <p>ア.文章の表現</p> <p>イ.ビジネス文書の種類と作成</p> <p>○一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス文書の役割について理解している。 ・ビジネス文書の構成について理解している。 ・ワープロの操作と入力方法について理解している。 ・ワープロを利用した文書の作成について理解している。 ・社外文書について理解している。 ・社内文書について理解している。 ・表計算を含んだ文書の作成について理解している。 ・表計算とグラフを含んだ文書の作成について理解している。 ・表現力に富んだ報告書の作成について理解している。 ・ワープロソフトの特殊な機能について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス文書の構成について論理的に考えることができる。 ・ワープロの操作と入力方法についての確に判断し表現することができる。 ・ワープロを利用した文書の作成についての確に判断し表現することができる。 ・社外文書と社内文書の違いを論理的に考えることができる。 ・表計算を含んだ文書の作成についての確に判断し表現することができる。 ・表計算とグラフを含んだ文書の作成についての確に判断し表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して具体例を用いて積極的に考えることができる。 ・協働的な学習を通して課題解決方法を考えることができる。 ・他者の意見をよく聞く力を身につけることができる。 ・自分意見を的確に伝える力を身につけることができる。 	○	○	○	15
	<p>E ビジネス文書の作成実習</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワープロを利用した文書作成の技術を身に付けさせる。 ・表計算を含んだ文書作成の技術を身に付けさせる。 ・表計算とグラフを含んだ文書作成の技術を身に付けさせる。 ・表現力に富んだ報告書作成の技術を身に付けさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワープロを利用し場面に応じた文書作成を的確に判断し表現させる。 ・場面に応じた表計算を含む文書作成を的確に判断し表現させる。 ・場面に応じた表計算とグラフを含んだ文書作成を的確に判断し表現させる。 ・場面に応じ表現力に富んだ報告書作成を的確に判断し表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して具体例を用いて積極的に考えさせる。 ・協働的な学習を通して課題解決方法を考えさせる。 ・他者の意見をよく聞く力を身につけさせる。 ・自分意見を的確に伝える力を身に付けさせる。 	<p>○指導項目</p> <p>ア.ビジネス文書の作成実習</p> <p>○一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワープロを利用した文書作成の技術を身に付けている。 ・表計算を含んだ文書作成の技術を身に付けている。 ・表計算とグラフを含んだ文書作成の技術を身に付けている。 ・表現力に富んだ報告書作成の技術を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワープロを利用し場面に応じた文書作成を的確に判断し表現することができる。 ・場面に応じた表計算を含む文書作成を的確に判断し表現することができる。 ・場面に応じた表計算とグラフを含んだ文書作成を的確に判断し表現することができる。 ・場面に応じ表現力に富んだ報告書作成を的確に判断し表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して具体例を用いて積極的に考えることができる。 ・協働的な学習を通して課題解決方法を考えることができる。 ・他者の意見をよく聞く力を身につけることができる。 ・自分意見を的確に伝える力を身につけることができる。 	○	○	○	15
3 学 期	<p>F.プレゼンテーション</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの意義について理解させる。 ・プレゼンテーションの基礎について理解させる。 ・プレゼンテーションの種類について理解させる。 ・プレゼンテーションソフトウェアの利用について理解させる。 ・プレゼンテーションスライドの作成について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面に応じたプレゼンテーションソフトウェアの利用について表現させる。 ・場面に応じたプレゼンテーションスライドを作成させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して具体例を用いて積極的に考えさせる。 ・協働的な学習を通して課題解決方法を考えさせる。 ・他者の意見をよく聞く力を身につけさせる。 ・自分意見を的確に伝える力を身につけさせる。 	<p>○指導項目</p> <p>ア.プレゼンテーションの技法</p> <p>イ.ビジネスにおけるプレゼンテーション</p> <p>○一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの意義について理解している。 ・プレゼンテーションの基礎について理解している。 ・プレゼンテーションの種類について理解している。 ・プレゼンテーションソフトウェアの利用について理解している。 ・プレゼンテーションスライドの作成について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面に応じたプレゼンテーションソフトウェアの利用について表現することができる。 ・場面に応じたプレゼンテーションスライドを作成することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して具体例を用いて積極的に考えることができる。 ・協働的な学習を通して課題解決方法を考えることができる。 ・他者の意見をよく聞く力を身につけることができる。 ・自分意見を的確に伝える力を身につけることができる。 	○	○	○	15
							合計
							70

高等学校 (1学年用) 教科 数学 科目 数学 I

教科: 数学 科目: 数学 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組

教科担当者:

使用教科書: (東京書籍 2 東書 数 I 704 新数学 I)

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】 中学校で学習した計算問題の解き方を理解し、問題を解くことができる。

【思考力、判断力、表現力等】 授業で学習した内容を生かして、2次関数や因数分解などを理論的に問題を解決する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し、割合や速さなど複雑な計算問題を工夫して問題を解こうとしている。

科目 数学 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
① 四則演算と分数・小数の計算ができるようになる。 ② 素因数分解ができるようになり、公倍数・公約数について理解している。 ③ 1次関数と2次関数の $y = ax^2$ について理解している。	① 多項式の計算問題を四則演算を用いて解くことができる。 ② かけ算と足し算の逆算を考えて、因数分解を解くことができる。 ③ 2次関数のグラフを移動して、位置関係を理解できる。	① 割合や速さを分数・小数の計算をして求めることができる。 ② 因数分解を用いて、乗乗を含めた複雑な計算ができる。 ③ 不等式を数直線で表すことができる。 ④ 身近な問題を関数を用いて、解くことができ、関係性を理解できる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 数の計算 【知識及び技能】 ・四則演算や小数の計算、正負の計算の解き方を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・素因数分解や公倍数・公約数、絶対値など、基本的な計算を用いて求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・割合や速さなどの文章題を求めることができる。	・教科書・ワークシート	【知識・技能】 ・整数と小数の四則演算ができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・素因数分解や公倍数、公約数をわり算を使って、求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小数の計算問題を解こうとしている。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
A 単元 数の計算 【知識及び技能】 ・四則演算や小数の計算、正負の計算の解き方を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・素因数分解や公倍数・公約数、絶対値など、基本的な計算を用いて求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・割合や速さなどの文章題を求めることができる。	・教科書・ワークシート	【知識及び技能】 ・正負の数の計算ができる。 ・2つの分数を通分することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・素因数分解や公倍数、公約数をわり算を使って、求めることができる。 ・通分された足し算・引き算を解くことができる。 ・分数のかけ算・わり算は通分をせずに問題を解くことを理解している。 ・百分率と歩合を元の数で表現することができる。 ・四捨五入して、概数を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・分数を通分して、たし算・ひき算をすることができる。 ・百分率と歩合を使って定価や売値を求めることができる。 ・時速から分速など単位が変わるときに計算して求めることができる。	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1
A 単元 数の計算 【知識及び技能】 ・四則演算や小数の計算、正負の計算の解き方を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・素因数分解や公倍数・公約数、絶対値など、基本的な計算を用いて求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・割合や速さなどの文章題を求めることができる。	・教科書・ワークシート	【知識及び技能】 ・正負の数の計算ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数の平均を求めることができる。	○	○	○	3
B 単元 数と式 【知識及び技能】 ・文字式のきまりや単項式・多項式、平方根などの意味が理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・因数分解や式の展開、1次方程式などの基本的な計算ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・3次式の因数分解や、文字の置換を使った計算など学んだ知識を活かして、問題を解こうとしている。	・教科書・ワークシート	【知識及び技能】 ・文字式のきまりにしたがって式を表すことができる。 ・単項式・多項式などの数学で学ぶ単語の意味が理解できる。 ・平方根の意味が理解でき、平方根の計算法則に従って平方根を簡単にすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・分配法則を使って、かっこをはずすことができる。 ・指数法則や分配法則を使って、整式の乗法が計算できる。 ・乗法公式を使って展開や因数分解ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文字を置き換えた整式の計算ができる。 ・式の一部を1つの文字に置き換えて、因数分解できる。 ・複雑な数の計算を因数分解や乗法公式を使って計算できる。	○	○	○	12

高等学校（1学年用） 教科

商業 科目 簿記

教科： 商業

科目： 簿記

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（ 「新簿記」実教出版 ） 使用問題集：（ 「反復式 簿記問題集 全商3級」実教出版 ）

教科 商業 の目標：

- 【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、ビジネスの創造性と発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 簿記 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業において日常発生する取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を身に付ける。取引の仕訳から勘定の記入を経て、決算に至るまでの簿記の基本的な仕組みについて理解を深める。	作成した貸借対照表や損益計算書を通して、ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を育てる。様々な意思決定の場面で適切な判断ができる能力を身に付ける。	正確な計算技術、丁寧な帳簿や書類の作成を習得させる。また、公正な財務諸表を作成することにより公共心を育み、情報公開に対応できる会計実務のスキルを身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	第1編 簿記の基礎 【知識及び技能】 簿記の意味と目的を理解し、歴史を通して簿記の普遍性に触れ、簿記を学ぶ必要性について理解する。また、取引の仕訳から勘定の記入を経て簿記一巡の手続きの基本的な流れについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 資産・負債・純資産・収益・費用の基本概念とそれらの相互関係及び貸借対照表・損益計算書の構造について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 正確な計算、丁寧な数字や文字の記述により、財務諸表を丁寧に作成させる。	第1章 簿記の基礎 ○簿記の意味・目的などを明らかにし、記帳の重要性を理解させる。 ○簿記の種類、歴史、前提条件などを理解させる	○簿記の定義、目的、種類、歴史、前提条件について、その知識や技術を身に付けている。 ○簿記の定義、目的、種類、歴史、前提条件について、思考・判断し、それを表現する方法を身に付けている。 ○本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	2
	第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表 ○資産・負債・純資産（資本）の意味を明らかにし、これらの相互関係を理解させる。 ○貸借対照表の意味・形式を明らかにし、作成方法を習熟させる。 ○期首と期末の資本によって、純損益を計算する方法（財産法）を理解させる。	○簿記の5要素、資産・負債・純資産と貸借対照表、資産・負債・純資産の増減と純損益の計算について、その知識・技術を身に付けている。 ○簿記の5要素、資産・負債・純資産と貸借対照表、資産・負債・純資産の増減と純損益の計算について、思考・判断し、その知識・技術を身に付けている。 ○本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	5	
	第3章 収益・費用と損益計算書 ○収益・費用の意味を明らかにし、収益・費用による純損益の計算（損益法）を理解させる。 ○損益計算書の意味・形式などを明らかにし、その作成方法に習熟させる。	○資本の増加と減少の原因、収益と費用のそれぞれの意味、損益法による純損益の計算、損益計算書について、その知識・技術を身に付けている。 ○資本の増加と減少の原因が、それぞれ収益と費用であること、収益・費用の各項目の意味、損益法による純損益の計算と損益計算書について思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。 ○本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	5	
	第4章 取引と勘定 ○取引の意味や勘定・勘定科目・勘定口座などの意味を理解させる。 ○勘定のルールに習熟させる。 ○取引を分解して、勘定に記入する方法を理解・習熟させる。 ○貸借平均の原理を理解させる。	○簿記上の取引概念、勘定や勘定口座、勘定科目の意味、取引の分解および勘定記入のルールについて、その知識・技術を身に付けている。 ○簿記上の取引概念、勘定や勘定口座、勘定科目の意味、取引の分解および勘定記入のルールについて、思考・判断し、その知識・技術を身に付けている。 ○本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	5	
	第5章 仕訳と転記 ○仕訳の意味を明らかにし、各種の取引の仕訳に習熟させる。 ○仕訳を勘定口座に転記する方法を理解させ、習熟をはかる。	○仕訳と転記の意味について理解し、実際にこれら二つの作業ができる知識・技術を身に付けている。 ○仕訳と転記における、それぞれの手順について思考・判断し、その結果、自分が身に付けたことを表現できる。 ○本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	4	
	第6章 仕訳帳と総勘定元帳 ○仕訳帳の形式・記入法を紹介する。 ○総勘定元帳の意味を明らかにし、仕訳帳からの転記の仕方に習熟させる。	○主要簿の概念を理解し、仕訳帳および総勘定元帳の基本的な記帳方法について、その知識・技術を身に付けている。 ○主要簿の概念、仕訳帳および総勘定元帳の仕組みについて、思考・判断し、それを表現する仕方と身に付けている。 ○本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	5	
	第7章 試算表 ○試算表の意味・種類・それぞれの特徴などを明らかにする。 ○試算表の作成方法に習熟させる。	○試算表の意味および主たる目的を理解し、3種類の試算表を実際に作成する知識・技術を身に付けている。 ○貸借平均の原理に基づく試算表の作成方法について思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。 ○本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協動的に取り組む姿勢を身に付けている。	○	○	○	3	

1 学期		<p>第8章 精算表 ○精算表の意味を明らかにして、その作成に習熟させる。 ○精算表から複式簿記のしくみを理解させる。</p>	<p>○精算表の意味および仕組みを理解し、精算表を実際に作成する知識・技術を身に付けている。 ○損益法および財産法の計算式に関連させながら、精算表の仕組みについて思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。 ○本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	5
		<p>第9章 決算 ○決算の意味・必要性・重要性について理解させる。 ○決算手続きのなかの総勘定元帳の締め切り手続きを重点的に指導し、習熟させる。 ○繰越試算表の役割を理解させる。</p>	<p>○決算の意味、総勘定元帳の締め切りに重点を置いた決算の手続き、決算の報告について、その知識・技術を身に付けている。 ○勘定間における振り替えの仕組みについて思考・判断し、それを振替仕訳として表現する仕方を身に付けている。 ○本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	6
2 学期	<p>第2編 取引の記帳（その1） 【知識及び技能】 企業における各種の取引の記録・計算・整理について関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して主体的に、かつ意欲的に取り組むとともに、ビジネスの諸活動を計数的に把握する実践的な態度を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 企業における取引の記録・計算・整理に関する諸問題の解決を目指して、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 企業における取引の記録・計算・整理に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、適切に処理できる。</p>	<p>第10章 現金預金などの取引 ○簿記で現金として扱われるものには、どのようなものがあるかを整理する。 ○現金に関する記帳方法を理解させる。 ○現金出納帳の役割とその記帳方法について理解させる。 ○現金過不足の意味、記帳方法について理解させる。 ○当座預金と小切手のしくみ、当座預金に関する記帳方法について理解させる。 ○当座借越の意味について理解させる。 ○当座預金出納帳の役割とその記帳方法について理解させる。 ○その他の預金の種類とその記帳方法について理解させる。 ○小口現金の意味および記帳方法について理解させ、小口現金出納帳の記入方法に習熟させる。</p>	<p>○簿記上の現金の入金と出金、現金および小口現金の記帳方法と、当座預金など預貯金の預け入れと引き出しおよび当座借越の記帳方法について理解している。 ○簿記上の現金の入金と出金、現金および小口現金の記帳方法と、当座預金など預貯金の預け入れと引き出しおよび当座借越の記帳方法を身に付けている。 ○簿記上の現金の入金と出金、現金および小口現金の記帳方法と、当座預金など預貯金の預け入れと引き出しおよび当座借越の記帳方法について、自ら学び帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	10
		<p>第11章 商品売上の取引 ○分記法について確認し、3分法による記帳へと発展させる。 ○商品売買に関する取引を、3分法によって記帳する方法を理解させる。 ○仕入帳・売上帳・商品有高帳の役割を理解し、その記入法について習熟させる。 ○商品有高帳については、先入先出法と移動平均法を理解させる。 ○3分法によって記帳している場合の商品売買損益の計算について理解させる。</p>	<p>○3分法による商品の仕入れと売り上げの記帳方法と、返品や仕入諸掛、発送費などの記帳方法について理解している。 ○仕入帳、売上帳の意味と記入内容について理解している。 ○商品有高帳の意味と記入内容について理解している。 ○3分法による商品の仕入れと売り上げの記帳方法と、返品や仕入諸掛、発送費などの記帳方法を身に付けている。 ○仕入帳、売上帳の意味と記帳方法を身に付けている。 ○商品有高帳の意味と記帳方法を身に付けている。 ○3分法による商品の仕入れと売り上げの記帳方法と、返品や仕入諸掛、発送費などの記帳方法について、自ら学び帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 ○仕入帳、売上帳の意味と記帳方法、商品有高帳の意味と記帳方法について自ら学び作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	10
		<p>第12章 掛け取引 ○掛け取引の意味および売掛金・買掛金の意味を正確に理解させる。 ○売掛金勘定と売掛金元帳の関係および売掛金に関する基本仕訳について理解させる。 ○買掛金勘定と買掛金元帳の関係および買掛金に関する基本仕訳について理解させる。</p>	<p>○商品売買における掛け取引の意味と勘定と掛元帳の関係性について理解している。 ○商品売買における掛け取引の意味と勘定と掛元帳の記帳方法を身に付けている。 ○商品売買における掛け取引の意味と勘定と掛元帳の記帳方法について、自ら学び帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	8
		<p>第13章 手形の取引 ○商品代金の決済に用いられる約束手形の内容と、手形債権・手形債務の発生・消滅の関係を明確に理解させる。 ○手形の振り出し・決済の記帳方法について習熟させる。 ○受取手形記入帳と支払手形記入帳の記入方法を理解させる。</p>	<p>○手形の種類と約束手形の意味、受取人と振出人の関係性について理解している。 ○手形記入帳の意味と記入内容を理解している。 ○約束手形において、受取人と振出人のそれぞれの記帳方法を身に付けている。 ○手形記入帳の記帳方法を身に付けている。 ○手形の種類や意味について、自ら学び、約束手形の仕訳や帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	6
		<p>第14章 その他の債権・債務の取引 ○売掛金・買掛金・受取手形・支払手形以外の債権・債務の諸勘定の意味を明らかにする。 ○その他の債権・債務に関する基本仕訳を理解させる。</p>	<p>○その他の債権・債務の取引等に関する基本的な内容とその記帳方法を理解して、基礎的な技術を身に付けている。 ○その他の債権・債務に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。 ○その他の債権・債務の取引に関心を深め、その記帳処理の学習を主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	6

3 学 期	<p>第15章 固定資産の取引 ○固定資産の意味と種類について明らかにする。 ○固定資産を取得したとき、不要になって売却したときのそれぞれの記帳方法について理解させる。</p>	<p>○固定資産の取引に関する基本的な内容とその記帳方法を理解して、基礎的な技術を身に付けている。 ○固定資産の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。 ○固定資産の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	10
	<p>第16章 個人企業の資本の取引 ○個人企業の資本の記帳方法について理解させる。 ○引出金勘定を用いた場合の記帳方法について理解させる。 ○所得税と住民税の記帳方法について理解させる。</p>	<p>○個人企業の資本の取引等に関する基本的な内容とその記帳方法を理解して、基礎的な技術を身に付けている。 ○個人企業の資本に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。 ○個人企業の資本の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	10
	<p>第17章 販売費と一般管理費、税金の取引 ○販売費及び一般管理費の意味と種類について明らかにする。 ○営業活動のために支払われた費用を、販売費及び一般管理費勘定で統括した場合の記帳方法について理解させる。 ○個人企業に課せられる税金の記帳方法について理解させる。 ○消費税の意味を明らかにし、その記帳方法について理解させる。</p>	<p>○販売費及び一般管理費と税金の取引等に関する基本的な内容とその記帳方法を理解して、基礎的な技術を身に付けている。 ○販売費及び一般管理費と税金の取引等に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。 ○販売費及び一般管理費と税品の取引に関心を高め、その記帳方法の学習を主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	5
	合計					

高等学校（2学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（東京書籍 2 東書 数 I 704 新数学 I）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】2次関数と三角比の基本的な法則を理解し、数学的に表現・処理することができる。

【思考力、判断力、表現力等】図形の性質や計量について、考察し、表現する力を身につけている。

【学びに向かう力、人間性等】数学の良さを認識し、2次関数のグラフや図形を描いて問題を解こうとしている。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
① 1次関数について理解し、関数の値を求めることができる。 ② 2次関数のグラフをかくことができ、平行移動したグラフもかくことができる。 ③ サイン、コサイン、タンジェントの意味を理解し、直角三角形において、その値を求めることができる。	① 2次関数のグラフの形や位置の関係について、ICT機器を用いてその仕組みを見出すことができる。 ② 2次関数の最大値・最小値についてグラフを用いて考察することができる。 ③ 角が鈍角の場合、座標平面を用いて鋭角で表すことができる。	① 2次不等式の解を考えるときに、2次関数のグラフとx軸の位置関係を活用しようとしている。 ② 三角比の表を利用して、いろいろな長さや高さを求めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 2次関数 【知識及び技能】 ・1次関数や2次関数について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・2次関数の式の係数とそのグラフの形や位置の関係について、グラフを描いて考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・関数の問題を解こうとしている。	・教科書・ワークシート・ノート パソコン	【知識及び技能】 ・関数の値を求めたり、座標を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・対応表やICT機器を用いて、関数のグラフが描ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・1次関数では傾きや切片、2次関数では頂点と軸を考えて関数の問題を解こうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	A 単元 2次関数 【知識及び技能】 ・式変形をして、頂点と軸の式を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・2次関数の最大値・最小値についてグラフを用いて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体的な事象の考察に2次関数のグラフや最大値・最小値を活用しようとしている。	・教科書・ワークシート・ノート パソコン	【知識及び技能】 ・式変形をして、頂点と軸を求め、グラフが描ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・グラフを活用しながら、定義域が決められているときの関数の最大値と最小値を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章問題を2次関数のグラフを利用して解こうとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1	
	復習 ・来学期に向けて、既習事項を復習する。	・ワークシート	【知識及び技能】 ・因数分解や解の公式に関する問題が解ける。	○			4
2 学 期	A 単元 2次関数 【知識及び技能】 ・2次不等式を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・2次不等式の解について、2次関数のグラフを用いて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な問題の解決に2次関数の最大値・最小値を活用しようとしている。	・教科書・ワークシート、ノート パソコン	【知識及び技能】 ・因数分解や解の公式を使って、2次不等式の計算問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・不等式の性質を利用し、2次関数のグラフを用いて、2次不等式の解を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な問題の解決に2次関数の最大値と最小値を活用して解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	B 単元 三角比 【知識及び技能】 ・サイン、コサイン、タンジェントの意味を理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・三角比の表を利用して、日常や社会の事象などの具体的な場面の問題を解こうとしている。	・教科書・ワークシート、ノート パソコン	【知識及び技能】 ・三角比の考え方と三平方の定理を利用して直角三角形の辺の長さを求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・三角比の表を利用して、角度や辺の長さを求めようとしている。	○		○	13
定期考査			○	○		1	
	復習 ・来学期に向けて、既習事項を復習する。	・ワークシート	【知識及び技能】 ・三角比を利用し、辺の長さを求めることができる。 ・三平方の定理を利用し、辺の長さを求めることができる。	○			2
	B 単元 三角比	・教科書・ワークシート、ノート	【知識及び技能】				

3 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三角比の求め方を座標を用いて、定めることで、鈍角の三角比の値を求めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正弦定理と余弦定理、三角形の面積の求め方を理解し、図形の計量の際に有効に活用することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>日常や社会の事象の中に三角形で構成された空間図形を見だし、その空間図形の計量に三角比を活用しようとしている。</p>	パソコン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鈍角の三角比の相互関係を理解している。また、120°、135°、150°の三角比の値を求めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正弦定理などを利用して、辺の長さや角度、面積を求めることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空間図形を複数の平面図形として捉え、ピルの高さなど求めようとしている。 	○	○	○	12	
	定期考査			○	○		1	
							合計	70

高等学校 (3 学年用) 教科 数学 科目 数学A

教科: 数学 科目: 数学A 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組

教科担当者:

使用教科書: (東京書籍 2 東書 数I 704 新数学A)

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】・図形の性質、場合の数と確率の基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に表現・処理できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】・図形の構成要素間の関係を踏まえて論理的に考察する力や、不確実な事象に着目して確率の性質に基づいて事象の起こりやすさを判断する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】・数学の良さを認識し、数学を活用しようとする態度を養う。

科目 数学A の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
① 部分集合、全体集合などの集合の表し方や用語を、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。 ② 和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解し、それらを用いて場合の数を求めることができる。 ③ 確率の加法定理や独立な試行などを理解し、その確率を求めることができる。	① 集合をベン図で表すことで、集合とその要素の関係や二つの集合の関係について考察できる。 ② 順列と組み合わせの考え方を理解し、組合せの総数の求め方を順列の総数の求め方から考察することができる。 ③ 確率の性質に基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。	① 身近なものを論理的に考察し、分類することを通して、集合の概念を理解しようとしている。 ② 順列と組み合わせの考え方を利用して、いろいろな場合の数を求めようとしている。 ③ 具体的な事象を基に、条件つき確率や確率の乗法定理を考察しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 場合の数 【知識及び技能】 ・集合の表し方、用語、記号を理解し、記号や図を用いて表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・集合をベン図で表し、いろいろな集合と要素の関係を読み取って考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・集合の概念を理解しようとしている。	・教科書・ワークシート・ノート パソコン	【知識及び技能】 ・条件に応じて集合の関係を記号や文字を用いて表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・いろいろな集合の関係をベン図を書いて考え、その状況を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な問題を、集合の概念にしたがって論理的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	A 単元 場合の数 【知識及び技能】 ・和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解し、具体的な事象に関する場合の数を樹形図や表に整理できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・順列と組合せを対比して、組合せの総数の求め方を順列の総数の求め方から考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・順列や組み合わせの考え方を振り返り、問題に応じて適切な解き方で答えようとしている。	・教科書・ワークシート・ノート パソコン	【知識及び技能】 ・和の法則や積の法則を樹形図などを用いて解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・順列と組み合わせの解き方を比較して、解き方の違いを演習を通して考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・和の法則や積の法則、順列、組み合わせを問題に応じて使い分けて解こうとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1	
	復習 ・来学期に向けて、1 学期の復習をする。	・ワークシート	【知識及び技能】 ・順列や組み合わせ、和の法則や積の法則に関する問題が解ける。	○			4
2 学期	A 単元 場合の数 【知識及び技能】 ・確率について理解し、場合の数をもとにいろいろな事象の確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・和事象と排反事象の違いについて、集合の概念を用いて考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・確率の問題を解く過程を振り返り、和事象と排反事象の違いについて考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・教科書・ワークシート、ノート パソコン	【知識及び技能】 ・場合の数をもとに、いろいろな確率の問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・集合の共通部分や和集合を踏まえて、和事象や排反事象を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・和事象や排反事象に関する問題に対して少し条件を変えたときに、数学的な根拠を踏まえて解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	B 単元 確率 【知識及び技能】 ・反復試行や独立な試行を理解し、その確率の公式を利用して確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・余事象について集合の内容に基づいて考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・今まで学習した確率の内容と独立な試行の確率の内容を比較し、独立な試行について数学的に理解しようとしている。	・教科書・ワークシート、ノート パソコン	【知識及び技能】 ・反復試行や独立な試行に関する問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・余事象に関する問題について、集合のベン図を書いて理論的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・いろいろな条件に対して、独立な試行かどうかを判断しようとしている。	○		○	12
定期考査				○	○		1
	復習 ・来学期に向けて、既習事項を復習する。	・ワークシート	【知識及び技能】 ・組み合わせと順列に関する問題を解くことができる。 ・排反事象の確率や独立な試行の確率などを求めることができる。	○			3
	B 単元 三角比	・教科書・ワークシート、ノート	【知識及び技能】				

3 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期待値について理解し、いろいろな場合について期待値を求めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件付き確率について、積事象などを用いて考察できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件付き確率の意味を乗法定理などに基づいて理解しようとしている。 	パソコン	<ul style="list-style-type: none"> ・期待値に関する問題を公式に基づいて解くことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件付き確率について、積事象を用いて考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件付き確率の意味を乗法定理などに基づいて理解しようとしている。 	○	○	○	14	
	定期考査			○	○		1	
							合計	70

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準			配当 時数
			知	思	態	
4月	地理総合の目標および評価について理解する。	オリエンテーション			○	2
	現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差などについて理解する。	地球上の位置と私たちの生活 時差と私たちの生活		○		2
	日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。	地球儀と地図 身の回りの地図		○	○	2
5月	地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	地理情報システム(GIS)の活用			○	3
	現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。	現代世界の国家 日本の位置や領域		○		2
	現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。	国家間の結び付き 貿易によって結び付く世界			○	2
	定期考査			○	○	1
6月	世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。	大地形と人々の生活 変動帯と人々の生活		○	○	2
	世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。	安定地域と人々の生活 河川がつくる人々の生活		○	○	2
	世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。	海岸の地形と人々の生活 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形 と人々の生活		○	○	2
	日本の地形と気候の特徴および地域差が生じる要因について理解する。	・日本の自然環境 日本の地形 日本の気候		○	○	
7月	定期考査			○	○	3
						1

	世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	経済成長による人々の生活の変化 ・東アジア ・東アジアの経済成長とその歩み					○		2
1月	世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	・東アジア ・東アジアの経済成長とその歩み					○		2
	世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	・東アジア ・経済成長に見る中国の生活補変化					○	○	3
	世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	・東アジア ・経済成長に見る韓国の生活補変化					○		2
	世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	・ヨーロッパ ・EU統合と人々の生活					○		3
2月	世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	・ヨーロッパ ・EU統合による農業への影響					○		2
	世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	・ヨーロッパ ・EU統合による工業や社会への影響					○		2
3月	定期考査						○	○	1

年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	英語		科 目	英語コミュニケーション英語Ⅱ(2単位)
対 象	4年生			
教 科 書	VISTA English Communication I <i>New Edition</i>			
副教材その他	独自に作成したワークシート等			
目 標	1. コミュニケーション英語基礎で学んだことを土台として、文構造を理解し、読解力の向上をはかる。 2. 音読練習などを通して基本例文を習得し、聞く・話す・書く力を総合的に高める。 3. 生活の色々な場面で使う頻出フレーズを習得する。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	1 4	総復習 英会話	1～3年時の総復習 日常会話の練習	
	1 4	Lesson 5 英会話	Baobabs in Madagascar 不定詞 日常会話の練習	
2	1 4	Lesson 6 英会話	Toothbrushing in Edo 動名詞 日常会話の練習	
	1 4	Lesson 7 英会話	Machu Picchu 現在完了形 日常会話の練習	
3	1 4	Lesson 8 英会話	Dick Bruna 関係代名詞 日常会話の練習	

評 価	(観点・基準) 1. 英語でコミュニケーションしようとする意欲・姿勢がある。2. 既習の英文を声に出して読める。3. 各単元の英文の内容を理解できる。4. 基本例文の構造を理解し、学習事項を使用した短文を書ける。※ 授業に対する取り組み、提出物(家庭学習を含む)、出席状況、小テスト、テストなどにより総合的に判断する。
-----	---

年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	数学	科 目	数学A (2単位)
対 象	4 学年		
教 科 書	『数学活用』(教科書番号等 7実教数活301)		
補助教材その他	『授業プリント』(授業者作成)		
目 標	数学活用の学習を通して、数学の基礎的、基本的知識を確実に習得する。また、主体的に学習に取り組む態度を育成する。習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	○ 身の回りの数学	いろいろな場合の数
	1 4	○ 身の回りの数学	数学的な表現の工夫
2	1 4	○ 社会生活と数学	経済と数学
	1 4	○ 社会生活と数学	コンピュータと人間の活動
3	1 4	○ 数学の発展と人間の活動	数と人間 数学と文化

評 価	<p>【観点・評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今まで学んできたことを総復習し、それを活用した新たな数学的活動に取り組むことで、数学の楽しさに触れる。 ・ 身の回りのいろいろなところで数学が関係していることを、授業から学習した内容を通して理解する。 ・ 調べ学習・アクティブラーニングを取り入れる。 ・ さまざまなデータの特徴を捉え、資料を整理できるようにする。
	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出席状況、授業・課題への取り組み状況、定期考査等から総合的に判断する。

年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	科	英語	科 目	論理・表現 I (2単位)
対 象	4年生 選択者			
教 科 書	Select English Conversation			
副教材その他	独自に作成したワークシート等			
目 標	1. 積極的に英語でコミュニケーションをしようとする姿勢を身につける。 2. 基本的な会話表現を習得する。 3. 簡単な英語で日常生活について表現し、クラスメイトと情報交換を行う。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	1 4	1. New Friends 2. Free time 英会話	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のあるものを言う ・余暇について話す 日常会話の補足練習	
	1 4	3. Are you okay? 4. Our school 5. Weather 英会話	<ul style="list-style-type: none"> ・体調について話す ・学校について話す ・天気・気候について話す 日常会話の補足練習	
2	1 4	6. TV programs 7. Talking on a cell phone 英会話	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好みを言う ・都合をたずねる／待ち合わせをする 日常会話の補足練習	
	1 4	8. Telling the way 9. Kyoto 10. Shopping 英会話	<ul style="list-style-type: none"> ・道をたずねる ・乗り物での行きかたをたずねる ・ほしいものを買う 日常会話の補足練習	
3	1 4	11. Restaurant 12. Making a plan 13. Future Jobs 英会話	<ul style="list-style-type: none"> ・食事を注文する ・誘う／誘いに応じる ・理由を述べる 日常会話の補足練習	

評価	<p>(観点・基準) 1. 英語を積極的に聞き取ろうとする。2. 日常的な英語のフレーズを覚え、活用しようとする。3. 学習した表現を使って、自分のことを伝えたり相手のことを聞いたりする。</p> <p>※ 授業に対する取り組み、提出物(家庭学習を含む)、出席状況、テストなどにより総合的に判断する。</p>
----	--

年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	数学		科 目	数学B（2単位）
対 象	4学年の総合選択の選択者			
教 科 書	『数学活用』（教科書番号等 7実教数活301）			
補助教材その他	『数学検定問題集』（個人のレベルに応じて、貸し出します。）			
目 標	数学活用の学習を通して、数学の基礎的、基本的知識を確実に習得する。また、主体的に学習に取り組む態度を育成する。習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	1 4	（年間通じて、個別対応） ○ 計算演習	（年間通じて、個別対応） 四則演算（整数・分数・小数を網羅する） 与えられたデータを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの統計量を求める	
	1 4			
2	1 4	○ データの分析 ○ 文章題 等	与えられた条件を読み取り、数学的に考える力の育成	
	1 4			
3	1 4			

評 価	<p>【観点・評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な四則演算ができるようになる。 ・ 基本的な統計量を求めたり、データの散らばり具合や傾向を数値化して考察できるようになる。 ・ 文章題の問題から、問題の意図することを読み取り、問題を解くことができるようになる。 <p>【評価方法】</p> <p>出席状況、授業・課題への取り組み状況、定期考査等から総合的に判断する。 尚、定期考査は考査期間の直前の授業の時間に行う。考査問題は個別で対応する。</p>
-----	---

年間授業計画 新様式
 第三商業高等学校 (定時制課程)
 教科: 地理歴史科 科目: 歴史総合
 対象学年組: 第 4 学年 1 組
 教科担当者:
 使用教科書: 新選 歴史総合 (東京書籍)
 教科 地理歴史科の目標:

教科 地理歴史 科目 歴史総合

単位数: 2 単位

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
今までの歴史に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の変化や、政治、紛争地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、資料や歴史文献などを用いて、調査や諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、人物や国家、場所、宗教と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり歴史的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	歴史に関わる諸事象について、よりよい世界の実現を視野に関連する課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、過去の事件・戦乱・恐慌等、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される市民としての自覚、国家に対する愛情、世界の諸地域の多様な価値観を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
4月	第1章 歴史と私たち 歴史の特質と資料	オリエンテーション	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○		○	2
	第2章 1節 近代化への問い 2節 結びつく世界と日本の開国 ①18世紀の東アジア	現代日本の現状構成を示したさまざまな近代化への事象を基に、アジアとの結びつきや不平等条約などについて理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		2
	②結びつくアジア地域 ③18世紀のヨーロッパとアジア ④産業革命の始まり	ヨーロッパでみられるさまざまな事象を基に、経済発展や統治システムの特徴や歴史的意義を理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		2
5月	※日本の幕藩体制と身分制社会 ※東アジアの伝統的な華夷秩序 ※イスラーム世界におけるカリフと秩序	鎖国や貿易経済について、目的や弊害、効果などに着目して、産業革命や輸出増加、法令、藩の統治などを多面的・多角的に考察し、分析する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】		○	○	3
	※ヨーロッパにおける主権国家体制の形成 ※アジアの美、追いかけるヨーロッパ ※世界をめぐる金銀の流れ	清の王朝でみられるさまざまな事象を基に、経済発展や統治システムの特徴や歴史的意義を理解する。 鎖国や貿易経済について、目的や弊害、効果などに着目して、産業革命や輸出増加、法令、藩の統治などを多面的・多角的に考察し、分析する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】		○	○	2
	※ラテンアメリカの歴史 ④産業革命の始まり ⑤世界市場の形成	現代世界のパワーバランスについて、位置や範囲などに着目して、課題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	2
	定期考査		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		1
6月	⑥東アジア国際関係の変化と日本の開国 ⑦世界経済の変化と日本の産業革命 ※絵画資料から近代都市を考察	東アジアの歴史について、国家や衝突などに着目して、遣唐使の意義を考察し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】		○	○	2
	3節 国民国家と明治維新 ①市民革命と近代社会 ②自由主義とナショナリズム	市民革命を基に、各国の生活文化が影響を受けたり、影響を与えたりして現在に至ることや、ナショナリズムの台頭によって起こる弊害などについて理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	2
	③アジアの諸国家とその変容 ④明治維新と東アジアの国際関係 ※アイヌと琉球	アジアの諸国家の変容を基に、各国の政治体制が影響を受けたり、国際関係が現在に至ること、東アジアの台頭によって起こる世界情勢への影響について理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	2
	⑤立憲制の広まり ⑥帝国主義と植民地 ※アフリカの分割と自立	立憲君主制を基に、各国の統治体制が変容し、改革に影響を与えたりして現在に至ることや、帝国主義の台頭によって起こる弊害などについて理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	
	※オセアニア ⑦日清戦争と華夷秩序の解体 ⑧帝国主義諸国の競合と国際関係	オセアニアの歴史から始まり、南半球の各国の生活文化に影響を与えたことで現在に至ることや、列強の熾烈な競争によって起こる弊害などについて理解する。					
7月	定期考査		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		3
							1

1 月	※バレスチナ ※野球と私たち ④計画経済と開発	バレスチナの歴史について、国家や衝突などに着目して、和平の意義を考察し、世界的視野から見た中東の位置、国家間の衝突を多面的・多角的に考察し、表現する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	○	○	○		
	⑤冷戦下の日本とアジア ⑥日本と欧米先進国の経済成長 ※万国博覧会	冷戦を基に、東西各国の生活文化が影響を受けたり、影響を与えたりして現在に至ることや、ナショナリズムの台頭によって起こる弊害などについて理解する。万国博覧会の意義にも触れる。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		2	
	※アフリカ ⑦地域連携の拡大 ⑧ベトナム戦争と冷戦構造の変容	アフリカの諸国家の変容を基に、各国の政治体制が影響を受けたり、国際関係が現在に至ること、民主主義勢力の台頭によって起こる世界情勢への影響について理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○		○		2
	③節 世界秩序の変容と日本 ①問い直される近代 ※近現代における女性	世界秩序の変容をまず学習し、各国の統治体制を比較する。改革により影響を与えた部分や、民主主義が台頭したことの意味について理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○		3
2 月	※タピオカと私たち ②石油危機と経済の自由化 ③アジアの経済発展と日本	オイルショックの歴史から始まり、各国の生活文化に影響を与えたことや、資本主義の熾烈な競争によって起こる弊害などについて理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○		2
	④冷戦の終結と世界 ⑤拡散する地域紛争 ※国民国家と民族問題	冷戦について、国家や衝突などに着目して、アメリカとソ連の軍縮条約の意義を考察し、世界的視野から見た両国の位置、国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○				3
	※グラフから現代の課題を読みとる ⑥民主化の進展 ⑦グローバル化と地域統合	民主化を基に、東側各国の生活文化が影響を受けたり、影響を与えたりして現在に至ることや、ナショナリズムの台頭によって起こる弊害などについて理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○				2
	⑧岐路に立つ世界と日本 ※グローバル化 4節現代的な諸課題の形成と展望	アジアの諸国家の変容を基に、グローバル化が影響を受けたり、国際関係が現在に至ること、グローバルサウスによってもたらされる世界情勢への影響について理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○				2
3 月	定期考査		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○			1

教科: 商業

科目:

ソフトウェア応用

単位数:

2

単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組

教科担当者:

使用教科書: (ソフトウェア活用 実教出版)

教科の目標:

- 【知識及び技能】1. 企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して発展的・網羅的に理解するとともに、応用技術を身に付けている。
2. 各種ソフトウェアに習熟し、高度な操作ができるようになる。

- 【思考力、判断力、表現力等】1. 企業活動におけるソフトウェアの活用に関する発展的な課題を発見し、基礎的な分野にとどまらず科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。

- 【学びに向かう力、人間性等】1. 企業活動を改善する力の向上を目指して応用的に学び、企業活動におけるソフトウェアの活用主体的かつ発展的に取り組もうとしている。

科目の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ビジネスの場面に応じたソフトウェアの利用ができる。	・ビジネスの場面で必要に応じたソフトウェアの利用する力と効果的な資料の作成における表現力。	・課題に対して具体例を用いて積極的に考えることができる。 ・協働的な学習を通して課題解決方法を考えることができる。 ・他者の意見をよく聞く力を身につけることができる。 ・自分意見を的確に伝える力を身につけることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数	
1 学期	4章 データベースソフトウェアの活用 1 節 ビジネスとデータベース	身近な事例を基にデータベースにおける管理の方法を考える学習活動により、データベースの意義と重要性を理解する。 社会で利用されている情報システムの例や、ビジネスにおけるデータベースの活用の事例を学ぶことにより、情報通信ビジネスにおけるデータベースの重要性を理解する。 ビッグデータの進化がもたらえる社会への恩恵を考える。	データベースの意義と重要性について考え、理解することができたか。 情報通信システムの特徴や処理方式の概要を理解し、その中におけるデータベースの意義や役割を考え、具体的な利用例を理解することができたか。 データベース利用における情報通信システムに関心を持ち、ビッグデータなどの社会的意義や役割を考え、理解することができたか。 データの重複とデータの独立、データベース管理システムとの関連などに関心を持ち、概要と目的を理解できたか。 ビジネスにおけるデータベースの役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持ったか。	○	○	○	6
	2 節 データベースの作成と操作	データベースとデータシートの社会課題との関連性について自ら学ぶ。					
	3 節 手続きの自動化	手続きの自動化を実行するための機能や情報技術の進歩に伴う技術革新の変化について理解し、それを活用するコンピュータやプリンタを LAN やインターネットに自動で接続するための基礎的な方法や、情報通信ネットワークのシステム障害に自動的に対処するための基本的な技術を身に付ける。	クエリの機能や情報技術の進歩に伴う通信手段の変化について理解し、ユーザーフォームや排他制御を適切にコミットし、データベースに接続するための発展的な方法や、ジャーナルファイルのシステム自動化に対処するための基本的な技術について理解している。				
	4 節 データベースの構造	SQL 言語を通して、膨大なデータ分析について理解し、様々な集計や分析方法、集計した情報から、分析結果を適切に表現する能力を身に付ける	SQL 言語を通して、情報の集計と分析について理解し、様々な方法で分析する能力を身に付けるとともに、分析結果を適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	○	○	○	7
	5 節 SQL の操作	企業などの LAN を活用したグループウェアに関し、体系的な能力を身に付けるとともに、ワークフローを通じて承認が必要な各種届出や申請書類を電子化できるか。		○	○	○	12

第三商業 高等学校 (1 学年用) 教科

商業 科目 ビジネス基礎

教科: 商業

科目: ビジネス基礎

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 組

教科担当者:

使用教科書: (ビジネス基礎 TAC出版)

教科 商業

の目標: 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協動的に取り組み態度を養う。

科目 ビジネス基礎

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。	ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にに関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1 商業の学習とビジネス 【知識及び技能】 商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスの役割について、企業の社会的責任や、環境、エネルギー、食料などの社会的な課題及びビジネスの動向・課題について具体的な事例と関連付けて考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 実践する力、職業人として必要な豊かな人間性、他者と協働する力を身に付けさせる。	・指導事項 1. いざ、ビジネスの世界へ 2. 私たちの社会とビジネス ・教材 教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技術】 ・商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解している。 【思考・判断・表現】 ・商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、経済社会の持続的な発展と関連について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協動的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	2 ビジネスとコミュニケーション 【知識及び技能】 ビジネスにおける信頼関係構築の意義と重要性を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスマナーの意義を理解し、場面に応じて考え、活動する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 企業活動における情報の重要性について理解し、情報の活用及び評価・改善する力を身に付けさせる。	・指導事項 1. コミュニケーション 2. ビジネスマナー 3. 情報の入手と活用 ・教材 教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技術】 ・ビジネスにおける信頼関係構築について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・ビジネスの場面を分析し、ビジネスにおいて他者への対応について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を入手して活用し、評価・改善している。ビジネスに主体的かつ協動的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	3 経済と流通の基礎 【知識及び技能】 経済の仕組みと流通の必要性について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 経済の基本概念、流通の役割など経済と流通に関する知識を基礎として、流通に関する課題を発見し、その解決方法を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 流通を支える組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付けさせる。	・指導事項 1. 経済の仕組みとビジネス 2. 経済活動と流通 ・教材 教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技術】 ・経済と流通について経済社会における事例と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 ・経済と流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・経済と流通について自ら学び、経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える活動に組織の一員として主体的かつ協動的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	4 さまざまなビジネス 【知識及び技能】 ビジネスの種類について理解し、流通や流通に関わる様々なビジネスについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 流通や流通に関わる様々なビジネスに関する知識を基礎として、流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 流通や流通に関わる組織の一員としての役割を果たすための力を身に付けさせる。	・指導事項 1. ビジネスの種類 2. 小売業 3. 卸売業 4. 金融業 5. 情報通信業 ・教材 教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技術】 ・ビジネスの種類と流通や流通に関わる様々なビジネスについて、経済社会における事例と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 ・流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・流通や流通に関わる様々なビジネスについて自ら学び、これらの組織の一員として主体的かつ協動的に取り組んでいる。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
2 学期	5 企業活動の基礎 【知識及び技能】 企業活動の形態と組織、マーケティングの重要性と流れなど企業活動について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 企業活動に関する知識を基礎に、企業活動の動向など、企業活動に関する課題を発見し、その対応策を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付けさせる。	・指導事項 1. ビジネスと企業 2. マーケティングの重要性 3. 資金調達 4. 財務諸表の役割 5. 企業活動と税 6. 雇用 ・教材 教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技術】 ・企業活動について経済社会における事例と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 ・企業活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協動的に取り組んでいる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	6 ビジネスと売買取引 【知識及び技能】 売買取引、代金決済など取引に関する知識や技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 取引に関する知識や技術を基礎に、実務における取引に関する課題を発見し、その対応策を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 取引の履行と締結について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付けさせる。	・指導事項 1. 売買取引の手順 2. 代金決済 ・教材 教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技術】 ・取引について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・取引について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協動的に取り組んでいる。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
3 学期	7 ビジネス計算 【知識及び技能】 ビジネス計算に関する知識や技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスにおいて計算技術がどのように活用されているかを考察し、ビジネスの諸活動に必要な計算を見い出す力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネス計算について学び、その知識と技術で組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付けさせる。	・指導事項 1. ビジネス計算の基礎 2. ビジネス計算の応用 ・教材 教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技術】 ・ビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・ビジネスにおいて計算技術がどのように活用されているかを考察し、ビジネスの諸活動に必要な計算を見い出している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ビジネス計算について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	8 身近な地域のビジネス 【知識及び技能】 さまざまな地域の魅力と課題、地域ビジネスの動向について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな地域のビジネスに関する知識などを基に、身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスの発展による地域の発展について、組織の一員として定期考査	・指導事項 1. さまざまな地域の魅力と課題 2. 地域ビジネスの動向 ・教材 教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技術】 ・さまざまな地域のビジネスについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの発展策を考え、実施及び評価・改善を行っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近なビジネスについて自ら学び、ビジネスの発展による地域の発展に主体的かつ協動的に取り組んでいる。	○	○	○	10
				○	○		合計
				○	○		70

第三商業 高等学校 (2 学年用) 教科

商業 科目 マーケティング

教科: 商業

科目: マーケティング

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 組

教科担当者:

使用教科書: (マーケティング 実教出版)

教科 商業

の目標: 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 マーケティング

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
マーケティングについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	マーケティングに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

す

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	(1) 現代市場とマーケティング 【知識及び技能】 現代市場におけるマーケティングの概要について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 マーケティングの意義と課題について、現代市場の特徴と関連付けて見いだすこと。 【学びに向かう力、人間性等】 現代市場におけるマーケティングについて自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 1. 市場環境の変化 2. マーケティングの発展 3. マーケティングの流れ 4. 消費者行動 ・教材 教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技術】 ・現代社会におけるマーケティングの概要について理解している。 【思考・判断・表現】 ・マーケティングの意義と課題について、現代市場の特徴の関連付けて考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代市場におけるマーケティングについて自ら学び、経済や消費者の動向を踏まえ、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	(2) 市場調査 【知識及び技能】 市場調査について企業における事例と関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 市場調査に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、調査計画を立案して実践し、評価・改善するとともに、市場調査で得られた情報を科学的に分析すること。 【学びに向かう力、人間性等】 市場調査について自ら学び、マーケティングに必要な情報の収集と分析に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 1. 市場調査の目的と方法 2. 情報の分析 ・教材 教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技術】 ・市場調査について企業における事例と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 ・市場調査に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて調査計画を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・市場調査について自ら学び、マーケティングに必要な情報の収集と分析に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	(3) 製品政策 【知識及び技能】 製品政策について企業における事例と関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 製品政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、製品政策を立案して実践し、評価・改善すること。 【学びに向かう力、人間性等】 製品政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、製品政策に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 1. 製品政策の概要 2. 製品企画と生産計画 3. 販売計画と販売予測 4. 製品政策の動向 ・教材 教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技術】 ・製品政策について企業における事例と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 ・製品政策に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて製品政策を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・製品政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、製品政策に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2 学 期	(4) 価格政策 【知識及び技能】 価格政策について企業における事例と関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 価格政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、価格政策を立案して実践し、評価・改善すること。 【学びに向かう力、人間性等】 価格政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、価格政策に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 1. 価格政策の概要 2. 価格の種類と決定の方法 3. 価格政策の動向 ・教材 教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技術】 ・価格政策について企業における事例と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 ・価格政策に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて価格政策を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・価格政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、価格政策に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学 期	(5) チャネル政策 【知識及び技能】 チャネル政策について企業における事例と関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 チャネル政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、チャネル政策を立案して実践し、評価・改善すること。 【学びに向かう力、人間性等】 チャネル政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、チャネル政策に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 1. チャネル政策の概要 2. チャネルの種類と特徴 3. チャネル政策の動向 ・教材 教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技術】 ・チャネル政策について企業における事例と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 ・チャネル政策に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいてチャネル政策を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・チャネル政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、チャネル政策に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		10
3 学 期	(6) プロモーション政策 【知識及び技能】 プロモーション政策について企業における事例と関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 プロモーション政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、プロモーション政策を立案して実践し、評価・改善すること。 【学びに向かう力、人間性等】 プロモーション政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、プロモーション政策に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 1. プロモーション政策の概要 2. プロモーションの方法 3. プロモーション政策の動向 ・教材 教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技術】 ・プロモーション政策について企業における事例と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 ・プロモーション政策に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて、プロモーション政策を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プロモーション政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、プロモーション政策に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		合計 70

年間授業計画

教科名	理科	科目名	科学と人間生活	単位数	2単位
学年・類型	3学年		担当教員		
使用教科書・教材	高等学校 科学と人間生活 (第一学習社) 担当教員作成プリント				

教科 理科 の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	2年間の理科授業の中で、科学技術をテーマとして、理科の基礎的な学習を円滑に進めて、この内容を習得すること目標とする。	科学技術をテーマとして、科学的な思考・技能を簡素化し、身近な事象を用いて習得できるようにする。	生徒自身が実験・観察の操作・体験を通じて、生徒自身がワークシートに記入出来る様に指導行う。

科目 科学の人間生活 の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	自然と人間生活との関わり及び、科学技術が人間生活に果たした役割について考える。	日常生活や身近な事象・現象に関する実験・観察などを通じて理解させる。また、それを利用して体得できるようにする。	科学的な見方・考え方、または科学技術への役割を養うとともに、興味・関心を高めていく。

年間授業計画

学習内容と評価の観点

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価の観点			単元の（題材）の評価規準	配当時間
			知	思	態		
1	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術の発展 人間生活の中の科学、光や熱の科学 (知) 材料とその利用をテーマに特徴・成り立ち・分類・用途を学習する。 (思) 具体的にプラスチック・金属・繊維それぞれの特徴・成り立ち・用途を考える。 (態) それぞれの材料はどのような所でどのように活用・利用されているかを把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術の発展が今日の人間生活に対して、どのようにして貢献したかについて理解させる。 身近な自然の事象・現象及び日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりについて認識を深めさせる。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術の発展を理解しているかどうか。 科学と人間生活との関わりを理解しているかどうか。 (知) 材料を科学技術の歴史と発展を振り返って理解しているかどうか。 (思) 科学技術の歴史を顧みて、現在、どのように使用されているかを知る。 (態) それぞれの材料を生産・使用・廃棄・再利用を生徒自身が考えて実践していく。 	28
2	<ul style="list-style-type: none"> 物質の科学、生命の科学 宇宙や地球の科学 (知) 中学理科分野で学習しているので、復習を兼ねて、光合成の学習をして、それをもとに発展的に考える。 (思) 植物の生育や光に対する動物の行動を観ていく。 (態) 光合成は生物にとって必要不可欠なもので、生物にとってなくてはならないことである事に気づかせる 	<ul style="list-style-type: none"> 材料とその再利用、衣料と食品、生物と光、微生物とその利用 身近な天体と太陽系における地球、身近な自然景観と自然災害 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 材料、衣料と食品、生物と光、微生物を理解しているかどうか。 身近な天体と太陽系における地球、身近な自然景観と自然災害を理解しているかどうか。 (知) 中学で学習した内容を蘇っているかをテーマに学習する。 (思) 中学の内容を利用して、植物の生育、動物の行動、人の視角を考えていく。 (態) 太陽の光は、それ以外に動植物に、どのように影響を与えるか、さらに人間への影響について知る。 	28
3	<ul style="list-style-type: none"> これからの科学と人間生活 (知) 1・2 学期の内容を踏まえて、新機能を備えたプラスチック・衣料の開発を考える。 (思) プラスチックの開発として高吸水樹脂・導電性樹脂など新素材について学ぶ (態) プラスチックは使い勝手の良い面、マイクロプラスチックのように生体内に悪影響があると言われているので、良い面悪い面、両方を知る 	自然と人間生活との関わり、及び科学技術を人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活との関わり方について考察させる。	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割を理解しているかどうか。 (知) プラスチックの歴史と発展を振り返って、理解しているかどうか。 (思) 使い勝手の良いプラスチックは、無くてはならないと思うので、プラスチックの未来を予測する。 (態) プラスチックの便利さよりも、プラスチックを減らすことを目的とすることが多くなってきているのでプラスチックの量を考えていく。 	14
評価方法	定期考査、ワークシートの提出、出席状況の三点で評価する。					配当時間合計	70

※なお、配当時間は生徒の状況により、必ずしも上記の通りに展開するものではない。

年間授業計画

教科名	理科	科目名	生物基礎	単位数	2単位
学年・類型	第4学年			担当教員	
使用教科書・教材	東書 改訂 生物基礎・理科資料集・ワークシート				

教科 理科 の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	2年間の理科授業の中で、科学技術をテーマとして、理科の基礎的な学習を円滑に進めて、この内容を習得すること目標とする。	科学技術をテーマとして、科学的な思考・技能を簡素化し、身近な事象を用いて習得できるようにする。	生徒自身が実験・観察の操作・体験を通じて、生徒自身がワークシートに記入出来る様に指導を行う。

科目 の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	科学と人間生活の内容をふまえて、さらに生物の内容を深めていく。	生物をテーマとして、科学的な思考・技能を簡素化し、身近な生物を用いて習得できるようにする。	生徒自身が生物を身近に感じることで、生徒自身がワークシートに記入出来る様に指導を行う。

年間授業計画

学習内容と評価の観点

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価の観点			単元の（題材）の評価規準	配当時間
			知	思	態		
1	生物の多様性と共通性	<ul style="list-style-type: none"> 多様な生物の共通点 生物の共通性としての細胞 プリント No. 1～No. 5 	○	○	○	1. 生物に対するかかわり方について考え、判断する能力を身につける。 2. 身近な生物の現象について関心や探究心をもたせる。 授業に対する取り組み、提出物（家庭学習を含む）、出席状況、テストなどにより、総合的に判断する。	14
	生命活動とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーと代謝 代謝にかかわる酵素 生体内におけるエネルギー変換 	○	○	○	1. 生物に対するかかわり方について考え、判断する能力を身につける。 2. 身近な生物の現象について関心や探究心をもたせる。 授業に対する取り組み、提出物（家庭学習を含む）、出席状況、テストなどにより、総合的に判断する。	14
2	生物と遺伝子	<ul style="list-style-type: none"> DNA の構造 DNA の遺伝情報 細胞分裂と DNA の複製 プリント No. 16～No. 19 	○	○	○	1. 生物に対するかかわり方について考え、判断する能力を身につける。 2. 身近な生物の現象について関心や探究心をもたせる。 授業に対する取り組み、提出物（家庭学習を含む）、出席状況、テストなどにより、総合的に判断する。	14
	遺伝情報とタンパク質の合成	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝情報の流れ・転写・翻訳 遺伝子の発見と生命現象 プリント No. 20～No. 21 	○	○	○	1. 生物に対するかかわり方について考え、判断する能力を身につける。 2. 身近な生物の現象について関心や探究心をもたせる。 授業に対する取り組み、提出物（家庭学習を含む）、出席状況、テストなどにより、総合的に判断する。	14
3	生物の体内環境の維持	<ul style="list-style-type: none"> 体内環境の特徴 心臓と血液循環 体内環境を調節する器官 プリント No. 22～No. 27 	○	○	○	1. 生物に対するかかわり方について考え、判断する能力を身につける。 2. 身近な生物の現象について関心や探究心をもたせる。 授業に対する取り組み、提出物（家庭学習を含む）、出席状況、テストなどにより、総合的に判断する。	14
評価方法	定期考査、ワークシートの提出、出席状況の三点で評価する。					配当時間合計	70

※なお、配当時間は生徒の状況により、必ずしも上記の通りに展開するものではない。

年間授業計画

高等学校（3学年） 教科

商業 科目 原価計算

教科： 商業

科目： 原価計算

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（ 「原価計算」 T A C株式会社 ） 使用問題集：（ 「反復式 原価計算問題集 全商1級」実教出版 ）

教科 商業

の目標： 商業の見方・考え方を働かせ、実践的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、ビジネスの創造性と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 原価計算 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
製造業の原価計算、工業簿記の勘定連絡について学び、原価計算の考え方や手法を適切に身に付ける。原価管理や利益管理に役立つ原価計算について理解を深める。	企業の原価情報を適切に把握し、具体的な原価の集計方法の判断や利益管理に関する分析の能力を育てる。様々な意思決定の場面で適切な判断ができる能力を身に付ける。	製造業における会計処理を身に付け、原価情報の効果的な活用を通して、ビジネスに対する視野をさらに深めていく態度を育成する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 第1編 原価計算の基礎 第2編 原価の費目別計算 【知識及び技能】 商業簿記と工業簿記の違い、工業簿記と原価計算の意味と目的を理解する。また、工業簿記の勘定連絡の基本的な流れを理解し、材料費・労務費・経費について適切に記帳できる。 【思考力、判断力、表現力等】 材料費・労務費・経費の分類や消費高の計算方法等について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 正確な計算、丁寧な数字や文字の記述により、適切に会計処理を行う態度を育成する。	・指導項目 第1章 原価と原価計算 第2章 原価計算のあらまし 第3章 工業簿記の勘定連絡 ・教材 教科書、問題集、プリント	【知識・技術】 ・工業簿記、原価計算の概要について理解している。 【思考・判断・表現】 ・製造業の工業簿記と原価計算の意義について、原価や利益との関連から考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・工業簿記、原価計算について自ら学び、適切な会計処理を行い、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	定期考査		○	○		1
	・指導項目 第4章 材料費 第5章 労務費 第6章 経費 ・教材 教科書、問題集、プリント	【知識・技術】 ・費目別計算と製造過程を関連付けて理解し、適切に記帳できる。 【思考・判断・表現】 ・材料費、労務費、経費の分類や消費高の計算方法について適切に考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・適切な会計処理について自ら学び、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
定期考査		○	○		1	
2 学期 第3編 原価の部門別計算と製品別計算 【知識及び技能】 個別原価計算や総合原価計算など、具体的な原価の集計方法について適切に計算・記帳できる技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 製造原価の記録・計算・整理に関する諸問題の解決を目指して、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、処理する能力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 製造業における会計処理を身に付け、原価情報の効果的な活用を通して、主体的に取り組む態度を育成する。	・指導項目 第7章 個別原価計算 第8章 部門別個別原価計算 ・教材 教科書、問題集、プリント	【知識・技術】 ・個別原価計算、部門別個別原価計算の会計処理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・個別原価計算や部門別個別原価計算の会計処理の一連の流れについて適切に判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・適切な会計処理について自ら学び、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査		○	○		1
	・指導項目 第9章 総合原価計算 第10章 工程別総合原価計算 第11章 総合原価計算と減損・仕損じの発生など ・教材 教科書、問題集、プリント	【知識・技術】 ・総合原価計算、工程別総合原価計算の会計処理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・総合原価計算や工程別総合原価計算の会計処理の一連の流れや、減損・仕損じの計算について適切に判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・適切な会計処理について自ら学び、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	15
定期考査		○	○		1	
3 学期 第4編 製品の完成・販売と決算 第5編 標準原価計算 第6編 直接原価計算 【知識及び技能】 本社工場の記帳や標準原価計算、直接原価計算など、適切に計算・記帳・分析できる技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 原価管理の諸問題の解決を目指して、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、処理する能力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 原価情報の効果的な活用を通して、ビジネスに関する視野を深めていく態度を育成する。	・指導項目 第12章 製品の完成と販売 第13章 決算と本社工場間の取引 ・教材 教科書、問題集、プリント	【知識・技術】 ・本社工場の会計処理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・本社と工場のそれぞれの立場から適切に会計処理を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・適切な会計処理について自ら学び、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	9
	・指導項目 第14章 標準原価計算（その1） 第15章 標準原価計算（その2） 第16章 直接原価計算（その1） 第17章 直接原価計算（その2） ・教材 教科書、問題集、プリント	【知識・技術】 ・標準原価計算、直接原価計算について理解している。 【思考・判断・表現】 ・標準原価計算、直接原価計算について、原価や利益との関連から考え、適切に判断・分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・CVP分析などの内部分析について自ら学び、原価情報の効果的な活用について主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査		○	○		合計 70

年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	国語	科 目	文学国語（2単位）
対 象	第4学年		
教 科 書	第一学習社 「改訂版 新編現代文A」		
副教材その他	入門「国語常識チェックドリル」		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・各々の進路実現に必要な国語常識を身に付け、言葉に対する感性を磨く。 ・文章を正しく読み取り、視野を広げると共に扱われている内容を自身の問題として捉え、自分なりの見解を持つ。 		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	小説を読む（三） 国語常識	夏目漱石「こころ」 重要語の読み書き・故事成語・慣用句・ことわざ
	1 4	小説を読む 国語常識	夏目漱石「こころ」 重要語の読み書き・故事成語・慣用句・ことわざ
2	1 4	小説を読む（五） 国語常識	米原万里「バグダッドの靴磨き」 重要語の読み書き・故事成語・慣用句・ことわざ
	1 4	人間と社会 国語常識	森本哲郎「経験の教えについて」 重要語の読み書き・故事成語・慣用句・ことわざ
3	1 4	小説を読む(六) 国語常識	中島敦「山月記」 1年間の総復習

評 価	<ol style="list-style-type: none"> 1、中学校・高等学校迄で学習する国語常識が身に付いている。 2、文章を正しく読み取った上で、書かれている内容を自分に引きつけて考えることができる。 3、近代文学を深く読み味わうことができる。
-----	---

年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	国語	科 目	表現 (2 単位)
対 象	第4学年		
教 科 書	教育出版「国語表現」改訂版		
副教材その他	啓隆社「コラムと論説」演習ノート		
目 標	選択者個々の実力及び進路希望に応じた、読む・書く・話す力の向上。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	コミュニケーションのために 文章表現の基礎	ウォームアップ 「表記の仕方」 「語句の用法を文のくぎり方」
	1 4	文章表現の基礎	「文章のリフォーム」 「わかりやすい説明の方法」
2	1 4	小論文 I	「意見を論理的に述べる」 「セルフディベート」 「文章の『型』」、「構成ノート」
	1 4	小論文 I メディア・リテラシー	「テーマ型小論文の実際」 メディアの特性を知る 広告というメディアを読む
3	1 4	言葉を届ける	「電子メール」 「電話とメモ」 「手紙」

評 価	1. 日本語の表現について関心を持ち、基礎知識を持つ。 2. 自分の意見を、根拠を明確にして述べることができる。 3. メディアの特性を理解し、メディアに対して意識的に関わることができる。
-----	--

高等学校(1学年用)教科

保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

教科担当者:

使用教科書: (高等学校保健体育Textbook 第一学習社)

教科 保健体育

の目標:

- 【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数
1 学 期	A 「体づくり運動」 【知識・技能】 ○各種目において、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。 ○各種目において、ゲームやルール、審判の仕方などを理解している。全員で楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ○各種目で実施される技能テストに向けて、自己や集団の課題解決に向けて練習し、技能を発揮することができる。 【思考・判断・表現】 ○体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに各種目を楽しむための調整の仕方を見つけている。 ○各種目の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見つけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各種目において、学習に主体的に取り組もうとしている。 ○仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ○一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。	・オリエンテーション ・ストレッチ運動 ・のびのびとした動作で用具などを用いた運動 ・緊張したり、緊張を解いて脱力したりする運動。 ・なわとび運動	A 単元 「体づくり運動」 【知識・技能】 ○各種目において、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。 ○各種目において、ゲームやルール、審判の仕方などを理解している。全員で楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ○各種目で実施される技能テストに向けて、自己や集団の課題解決に向けて練習し、技能を発揮することができる。 【思考・判断・表現】 ○体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに各種目を楽しむための調整の仕方を見つけている。 ○各種目の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見つけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各種目において、学習に主体的に取り組もうとしている。 ○仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ○一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。	○	○	○	5
	B 「陸上競技」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・短距離走 ・投てき	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	C 「バドミントン」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な技能 ・シングルのルール ・シングルのゲーム	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	12
2 学 期	D 「テニス」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な技能 ・ダブルスのルール ・ダブルスのゲーム	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	E 「卓球」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・短距離走 ・投てき	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	F 「バレーボール」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な技能(オーバーハンドパス・アンダーハンドパス・サーブ) ・ゲームのルール	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
3 学 期	G 「バスケットボール」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な技能(パス・ドリブル・シュート) ・ゲームのルール	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	H 「体育理論」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	3

教科： 公民

科目： 公共

単位数： 2 単位

対象年次： 2 年次

教科担当者：

使用教科書：（ 『高等学校公共』 帝国書院 ）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	青年期と社会参画 【知識・技能】自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解する。 【思考・判断・表現】社会に参画する自立した主体とは集団の中で他者との協働により公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わる。	・青年期 ・学ぶこと ・社会参画とキャリア	【知識・技能】自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】社会に参画する自立した主体とは集団の中で他者との協働により当事者として公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	6
	宗教・思想・伝統文化と社会 【知識・技能】人間は個人として尊重される存在であり、対話を通して多様な立場を理解できる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の知恵を通して、多様な価値観を尊重できるようになることについて理解する。 【思考・判断・表現】対話や、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れることを通して、多様な価値観を尊重することについて多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わる。	・宗教 ・日本の思想 ・日本の伝統と文化	【知識・技能】人間は個人として尊重される存在であり、対話を通して多様な立場を理解できる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の知恵を通して、多様な価値観を尊重できるようになることについて理解している。 【思考・判断・表現】対話や、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れることを通して、多様な価値観を尊重することについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	4
	倫理的な見方・考え方 【知識・技能】選択・判断の手掛かりとして、幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 【思考・判断・表現】倫理的価値の判断において、幸福を重視する考え方と公正などの義務を重視する考え方などを活用して考察する活動を通して、人間としてのあり方生き方を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わる。	・古代ギリシアの思想 ・古代中国の思想 ・近代西洋の思想 ・現代の思想	【知識・技能】選択・判断の手掛かりとして、幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考・判断・表現】倫理的価値の判断において、幸福を重視する考え方と公正などの義務を重視する考え方などを活用して考察する活動を通して、人間としてのあり方生き方を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	4
	社会の基本原則と憲法の考え方 【知識・技能】人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 【思考・判断・表現】公共的な空間における基本的原理について、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】公共的な空間における基本的原理について、現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わる。	・近代立憲主義 ・日本国憲法 ・平等に生きる権利 ・自由に生きる権利 ・人間らしく生きる権利 ・広がる人権の考え方	【知識・技能】人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】公共的な空間における基本的原理について、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】公共的な空間における基本的原理について、現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	9
定期考査				○	○	○	1
2 学期	法の意義と司法参加 【知識・技能】法や規範に基づき各人の意見や利害を調整することで、権利や自由が保障され、社会の秩序が維持されることを理解する。 【思考・判断・表現】自立した法的主体として解決が求められる具体的な主題について、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わる。	・社会規範と法 ・契約の考え方 ・消費者の権利と責任 ・司法の役割 ・刑事裁判とその課題	【知識・技能】法や規範に基づき各人の意見や利害を調整することで、権利や自由が保障され、社会の秩序が維持されることを理解している。 【思考・判断・表現】自立した法的主体として解決が求められる具体的な主題について、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	6
	民主社会と政治参加 【知識・技能】よりよい社会は憲法の下で個人が議論に参加し、利害対立を調整して合意形成することによって築かれることを理解する。 【思考・判断・表現】自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について考察したことを、論拠をもって表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わる。	・政治と権力 ・議院内閣制と国会 ・権力分立と行政の役割 ・地方自治の役割 ・政党政治とメディア ・選挙制度とその課題	【知識・技能】よりよい社会は憲法の下で個人が議論に参加し、利害対立を調整して合意形成することによって築かれることを理解している。 【思考・判断・表現】自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について考察したことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	9
	定期考査				○	○	○

高等学校 (2学年用) 教科

保健体育 科目 体育

教科: 保健体育

科目: 体育

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年

教科担当者:

使用教科書: (高等学校保健体育Textbook 第一学習社)

教科 保健体育

の目標:

- 【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数
1 学 期	A 「体づくり運動」 【知識・技能】 ○各種目において、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。 ○各種目において、ゲームやルール、審判の仕方などを理解している。全員で楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ○各種目で実施される技能テストに向けて、自己や集団の課題解決に向けて練習し、技能を発揮することができる。 【思考・判断・表現】 ○体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに各種目を楽しむための調整の仕方を見つけている。 ○各種目の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見つけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各種目において、学習に主体的に取り組もうとしている。 ○仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ○一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。	・オリエンテーション ・ストレッチ運動 ・のびのびとした動作で用具などを用いた運動 ・緊張したり、緊張を解いて脱力したりする運動。 ・なわとび運動	A 単元 「体づくり運動」 【知識・技能】 ○各種目において、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。 ○各種目において、ゲームやルール、審判の仕方などを理解している。全員で楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ○各種目で実施される技能テストに向けて、自己や集団の課題解決に向けて練習し、技能を発揮することができる。 【思考・判断・表現】 ○体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに各種目を楽しむための調整の仕方を見つけている。 ○各種目の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見つけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各種目において、学習に主体的に取り組もうとしている。 ○仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ○一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。	○	○	○	5
	B 「陸上競技」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・短距離走	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	C 「バドミントン」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な技能 ・シングルのルール ・シングルのゲーム	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	12
2 学 期	D 「テニス」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な技能 ・ダブルスのルール ・ダブルスのゲーム	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	E 「卓球」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・短距離走 ・投てき	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	F 「バレーボール」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な技能 (オーバーハンドパス・アンダーハンドパス・サービス) ・ゲームのルール	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
3 学 期	G 「バスケットボール」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な技能 (パス・ドリブル・シュート) ・ゲームのルール	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	H 「体育理論」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	3

高等学校 (3学年用) 教科

保健体育 科目 体育

教科: 保健体育

科目: 体育

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者:

使用教科書: (高等学校保健体育Textbook 第一学習社)

教科 保健体育

の目標:

- 【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数
1 学 期	A 「体づくり運動」 【知識・技能】 ○各種目において、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。 ○各種目において、ゲームやルール、審判の仕方などを理解している。全員で楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ○各種目で実施される技能テストに向けて、自己や集団の課題解決に向けて練習し、技能を発揮することができる。 【思考・判断・表現】 ○体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに各種目を楽しむための調整の仕方を見つけている。 ○各種目の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見つけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各種目において、学習に主体的に取り組もうとしている。 ○仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ○一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。	・オリエンテーション ・ストレッチ運動 ・のびのびとした動作で用具などを用いた運動 ・緊張したり、緊張を解いて脱力したりする運動。 ・なわとび運動	A 単元 「体づくり運動」 【知識・技能】 ○各種目において、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。 ○各種目において、ゲームやルール、審判の仕方などを理解している。全員で楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ○各種目で実施される技能テストに向けて、自己や集団の課題解決に向けて練習し、技能を発揮することができる。 【思考・判断・表現】 ○体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに各種目を楽しむための調整の仕方を見つけている。 ○各種目の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見つけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各種目において、学習に主体的に取り組もうとしている。 ○仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ○一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。	○	○	○	5
	B 「陸上競技」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・短距離走 ・投てき	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	C 「バドミントン」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な技能 ・シングルのルール ・シングルのゲーム	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	12
2 学 期	D 「テニス」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な技能 ・ダブルスのルール ・ダブルスのゲーム	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	E 「卓球」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・短距離走 ・投てき	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	F 「バレーボール」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な技能 (オーバーハンドパス・アンダーハンドパス・サービス) ・ゲームのルール	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
3 学 期	G 「バスケットボール」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な技能 (パス・ドリブル・シュート) ・ゲームのルール	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	H 「体育理論」 ※以下、Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	※Aと同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	3

年間授業計画 新様式例

高等学校 (4学年用) 教科

保健体育 科目 体育

教科: 保健体育

科目: 体育

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 4 学年

教科担当者:

使用教科書: (高等学校保健体育Textbook 第一学習社)

教科 保健体育

の目標:

- 【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考・判断・表現】 運動や健康についての他者や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 「体づくり運動」</p> <p>【知識及び運動】 体づくり運動について、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・ストレッチ運動 ・のびのびとした動作で用具などを用いた運動 ・緊張したり、緊張を解いて脱力したりする運動。 ・なわとび運動 	<p>【知識及び運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動では、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、学習した具体例を挙げている。 ・体力の構成要素は、健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることについて、学習した具体例を挙げている。 ・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見つけている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。 	○	○	○	7
<p>C 「陸上競技」</p> <p>【知識・技能】 短距離走では、中間走の高いスピードを維持して速く走ることができるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走 ・投てき 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技では、各種目の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 ・高いスピードを維持して走る中間走では、体の真下近くに足を接地したり、キックした足を素早く前に運んだりするなどの動きで走ることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択した運動種目について、自己や仲間の動きを分析して良い点や修正点を指摘している。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて仲間とともに陸上競技を楽しむための調整の仕方を見つけている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。 	○	○	○	10
<p>E 「バドミントン」</p> <p>【知識・技能】 ネット型について勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、合意形成に貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い高め合おうとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技能 ・シングルのルール ・シングルのゲーム 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることについて学習した具体例を挙げている。 ・サーブでは、ボールに変化をつけて打つことができる。 ・ボールを相手側のコートに守備のない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習やゲームを行う場面で、チームや自己の活動を振り返り、よりよいマナーや行為について提案している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技の学習に主体的に取り組んでいる。 ・フェアなプレイを大切にしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。 	○	○	○	10

1 学期

2 学 期	E「テニス」 ※E「バドミントン」と同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な技能 ・ダブルスのルール ・ダブルスのゲーム	※E「バドミントン」と同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	E「卓球」 ※E「バドミントン」と同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な技能 ・シングルのルール ・シングルのゲーム	※E「バドミントン」と同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
	E「バレーボール」 ※E「バドミントン」と同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な技能（オーバーハンドパス・アンダーハンドパス・サービス） ・ゲームのルール	【知識・技能】 ・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることについて学習した具体例を挙げている。 ・ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。 ・チームの作戦に応じた守備位置から、捨ったりつないだり打ち返したりすることができる。 ※以下、E「バドミントン」と同様の内容 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
3 学 期	E「バスケットボール」 ※E「バドミントン」と同様の内容 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な技能（パス・ドリブル・シュート） ・ゲームのルール	【知識・技能】 ・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることについて学習した具体例を挙げている。 ・防衛をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶことができる。 ・味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 ※以下、E「バドミントン」と同様の内容 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	H「体育理論」 【知識】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	豊かなスポーツライフの設計の仕方	【知識】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 ・ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方やライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について、自己や自己を取り巻く環境の変化を予想し、自己や社会についての課題を発見している。 ・豊かなスポーツライフが広がる未来の社会について、これまで学習したことを基に、将来の自己のスポーツ設計や未来の社会についての自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に、主体的	○	○	○	6

年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	人間と社会	科 目	人間と社会 (1単位)
対 象	第3学年		
教 科 書	東京都教育委員会 「人間と社会」		
副教材その他	自作プリント 他		
目 標	1. 体験活動や他者とのかかわりを通して、社会の一員であることを自覚する。 2. 自他を尊重し、自己の考えを深め、人間関係を形成する能力を養う。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 2	ガイダンス 人間関係を築く 支え合う社会 体験活動事前指導 体験活動 1	<ul style="list-style-type: none"> ・「人間と社会」の学習の視点を踏まえ、1年間の学習計画を説明する。 ・自他を尊重し、自己の考えを深め、人間関係を形成する能力を養う。 ・思いやりや人間愛のこころを深め、課題に対応する能力を育成する。 ・体験活動の意義を説明する ・ボランティア・センター職員と高齢者施設職員と一緒に高齢者の実態を伺い、高齢者疑似体験を実施する
2	1 7	地域社会を築く 体験活動 2 体験活動事後指導	<ul style="list-style-type: none"> ・社会連帯、共生の考えを深め、人間関係形成能力を育成する。 ・手話講師とともに手話実技体験を実施する ・聴覚障害者を支援できる能力とこころを育成する ・体験学習の意義を考えさせる
3	6	マナーと社会のルールについて考える 学習について自己評価を行い、学習をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識、思いやりの考えを深め、自己管理能力を育成する ・1年間の学習を振り返り、自己評価を行い、学習の成果を報告書にまとめ、発表させる
評 価	(観点・基準)「人間と社会」を学ぶ意義について理解しているか 体験活動を通して、自ら課題を解決できたかについて、自己評価及び相手の評価等により行う。 社会に貢献する活動について調べたことをワークシートにまとめて提出しているか。 学習成果の達成状況について報告書を提出しているか。		

の目標: 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育てることを目指す。

- 【知識及び技能】1. 企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
 2. 各種ソフトウェアが利用できるようになる。
 1. 企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。
- 【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】1. 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

科目 ソフトウェア活用

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ビジネスの場面に応じたソフトウェアの利用ができる。	・ビジネスの場面で必要に応じたソフトウェアの利用する力と効果的な資料の作成における表現力。	・課題に対して具体例を用いて積極的に考えることができる。 ・協働的な学習を通して課題解決方法を考えることができる。 ・他者の意見をよく聞く力を身につけることができる。 ・自分意見を的確に伝える力を身につけることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数
1 学 期	1章 企業活動とソフトウェア活用 1節 ビジネスにおけるソフトウェアの活用	身近な事例を基にビジネスにおけるソフトウェアの活用を考える学習活動により、ソフトウェアの意義と重要性を理解する。社会で利用されている情報システムの例や、ビジネスにおけるソフトウェアの活用の実例を学ぶことにより、情報通信ビジネスにおけるソフトウェア活用の重要性を理解する。ソフトウェアの進化がもたらえる社会への影響を考える。	ソフトウェアの意義と重要性について考え、理解することができたか。 情報通信システムの特徴や処理方式の概要を理解し、ソフトウェアの意義や役割を考え、具体的な利用例を理解することができたか。 ネット通信ビジネスにおける情報通信システムに関心を持ち、各種決済システムなどの、ソフトウェアの意義や役割を考え、理解することができたか。 観光ビジネスとソフトウェアの活用、各種センサーとソフトウェアの関連などに関心をもち、概要と目的を理解できたか。 ビジネスにおけるソフトウェアの役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持ったか。	○	○	○	6
	2節 ビジネスにおけるソフトウェアの進化	ソフトウェアとビジネスや社会課題との関連性について自ら学ぶ。					
	2章 情報通信ネットワークの活用 1節 情報通信ネットワークの導入と運用	ネットワーク機器の機能や情報技術の進歩に伴う通信手段の変化について理解し、それを活用するコンピュータやプリンタをLANやインターネットに接続するための基礎的な方法や、情報通信ネットワークのシステム障害に対処するための基本的な技術を身に付ける。	ネットワーク機器の機能や情報技術の進歩に伴う通信手段の変化について理解し、コンピュータやプリンタを適切にLANやインターネットに接続するための基礎的な方法や、情報通信ネットワークのシステム障害に対処するための基本的な技術について理解している。	○	○	○	7
	3章 表計算ソフトウェアの活用 1節 表計算ソフトウェアを用いた情報の集計と分析	表計算ソフトウェアを通して、情報の集計と分析について理解し、様々な集計や分析方法、集計した情報から、分析結果を適切に表現する能力を身に付ける	表計算ソフトウェアを通して、情報の集計と分析について理解し、様々な方法で分析する能力を身に付けるとともに、分析結果を適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	○	○	○	12

